

第45回 福岡市人権尊重週間「人権を尊重する市民の集い」ご案内

福岡市人権尊重推進委員会では、部落差別をはじめ一切の差別をなくすため、昭和47年度から福岡市人権尊重週間(12月4日～10日)に各種行事を実施しています。
本年度もその取組の一つとして「人権を尊重する市民の集い」を下記のとおり実施いたします。ぜひ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

テーマ

家庭や地域・職場の中で、部落差別をはじめ一切の差別をなくす取組を一人ひとりが推進しよう

1 時間 午後1時30分～4時00分

2 内容

(1)実践報告 「学校・地域・職場での人権学習の取組」

(2)講演 「部落差別をはじめ一切の差別をなくすために」

期日	区	実践報告	講演講師(敬称略)・講演テーマ	会場	利用交通機関
12/5 (月)	博多	博多校区奈良屋人権尊重推進協議会 「本日はお日柄もよろしく～」ほか ～やらの劇団の人権寸劇～	講師： 一般社団法人 スタディライフ熊本特別顧問 たじり ゆきこ 田尻 由貴子 テーマ： 命のバトン～家族のきずな 地域のきずな 子どもは未来の宝物～	博多市民センター 博多区山王1丁目13番10号 問い合わせ先 博多区生涯学習推進課 電話：419-1025 FAX：419-1029	西鉄バス「山王公園前」 「山王1丁目」下車
12/5 (月)	早良	福岡市企業同和問題推進協議会 西日本鉄道株式会社 人事部人権推進課 課長 平野 敦彦 福岡市企業同和問題推進協議会と 西鉄グループの人権啓発の取組み	講師： 女子高生サポートセンターColabo代表 にとう ゆめの 仁藤 夢乃 テーマ： 「若者の現状」と「つながりの必要性」 ～ずっと居場所がほしかった～	早良市民センター 早良区百道2丁目2番1号 問い合わせ先 早良区生涯学習推進課 電話：833-4401 FAX：851-2680	西鉄バス「藤崎」下車 地下鉄「藤崎」下車
12/6 (火)	南	社会福祉法人 福岡あけぼの会 心の病をもつ人が地域でいきいきと 暮らすために	講師： 元タカラジェンヌ・LGBTアクティビスト ひがし こゆき 東 小雪 テーマ： LGBTを理解する ～同性婚・新しい家族のかたち～	南市民センター 南区塩原2丁目8番2号 問い合わせ先 南区生涯学習推進課 電話：559-5172 FAX：562-3824	西鉄バス「南市民センター前」 西鉄電車「大橋駅」下車
12/7 (水)	城南	人権を考える会べふ (別府校区人権尊重推進協議会) 広報紙から広がる人権 ～探り、学び、伝える～	講師： ノンフィクションライター かどおか のぶひこ 角岡 伸彦 テーマ： 部落問題のこれから	城南市民センター 城南区片江5丁目3番25号 問い合わせ先 城南区生涯学習推進課 電話：833-4044 FAX：844-1204	西鉄バス「東七隈」下車 地下鉄「七隈」下車
12/8 (木)	西	障がい福祉サービス事業所 わくわくランド 所長 小柳 美穂 共に生きる～自分らしく輝く わくわく ランドの実践～	講師： リオデジャネイロパラリンピック 女子マラソン(視覚障がい)銀メダリスト みちした みさと 道下 美里 テーマ： チャンスをくれた人 ～2016リオまでの道のり～	西市民センター 西区内浜1丁目4番39号 問い合わせ先 西区生涯学習推進課 電話：895-7026 FAX：882-2137	西鉄バス「姪浜駅」下車 地下鉄「姪浜」下車 昭和バス「姪浜」下車
12/9 (金)	東	八田公民館 人権に係る八田公民館の取り組み ～誰にもやさしい地域の縁側をめざし て～	講師： 講談師・声優 いちりゅうさい はるみ 一龍斎 春水 テーマ： 中村久子伝 ～生きること、生かされていること～	東市民センター (なみきホール) 東区千早4丁目21番45号 問い合わせ先 東区生涯学習推進課 電話：645-1144 FAX：645-1042	JR鹿児島本線「千早駅」下車 西鉄貝塚線「千早駅」下車 西鉄バス「千早駅」「名香野」下車
12/10 (土)	中央	株式会社ペンシル 代表取締役社長 倉橋 美佳 成長の鍵は多様性～㈱ペンシルが めざすダイバーシティ経営とは～	演劇集団フリーダムによる人権啓発ミュージカル 「ハッピーバースデー」公演	中央市民センター 中央区赤坂2丁目5番8号 問い合わせ先 中央区生涯学習推進課 電話：718-1068 FAX：714-2141	西鉄バス「赤坂門」 「警固町」下車 地下鉄「赤坂」下車

※手話通訳会場(全区)・要約筆記会場(全区)

※公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

【時間】

午後1時30分 開会(開場：午後1時)

午後1時40分～ 学校・地域・職場からの実践報告(約40分)

午後2時30分～ 講師による講演(約90分)

午後4時00分 閉会

講演講師紹介

開催日 会場 講演テーマ	講師 (敬称略)	プロフィール
12/5 (月) 博多市民センター 命のバトン～家族のきずな 地域のきずな 子どもは未来の宝物～	たじり ゆきこ 田尻 由貴子 	熊本県生まれ。医療法人聖粒会慈恵病院において長年にわたって看護部長を務めるとともに、平成19年に開設された「こうのとりのゆりかご」及び「SOS相談窓口」運営の中心的役割を果たす。 平成27年4月から一般社団法人スタディライフ熊本（生涯学習支援事務所）特別顧問に就任。望まない妊娠や子育てで悩む女性やその家族に寄り添う24時間対応のフリーダイヤル相談窓口を開設するとともに、全国の小中高校や大学、学会において性教育や子育て、命の大切さについて講演活動を行っている。
12/5 (月) 早良市民センター 「若者の現状」と「つながりの必要性」～ずっと居場所がほしかった～	にとろ ゆめの 仁藤 夢乃 	1989年生まれ。大学在学中から、中高生世代に目を向けた活動を始め、2013年に著書『難民高校生-絶望社会を生き抜く「私たち」のリアル』（英治出版）を出版。声を上げることのできない少女たちに対する相談、社会的処遇の改善、生活支援、自助グループの運営などを行っている。 2015年より、第30期東京都青少年問題協議会委員を務める。2015年エイボン女性年度賞受賞。日経ビジネス「次世代を創る100人」（2015年12/28発売）に掲載される。
12/6 (火) 南市民センター LGBTを理解する～同性婚・新しい家族のかたち～	ひがし こゆき 東 小雪 	元タカラジェンヌ/LGBTアクティビスト。株式会社トロワ・クルール取締役。1985年、石川県金沢市生まれ。東京ディズニーシーにて初の同性結婚式を挙げ国内外で話題に。渋谷区パートナーシップ証明書第1号取得。講演、企業研修、テレビ・ラジオ出演、執筆など幅広く活躍中。NTTドコモのCSRのテレビCMに出演。TBS「私の何がイケないの?」、テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」、NHK Eテレ「ハートネットTV」、フジテレビ「みんなのニュース」、TOKYO MX「モーニングCROSS」などメディア出演多数。 著書に『なかったことにしたくない 実父から性虐待を受けた私の告白』（講談社）、増原裕子との共著に『女どうして子どもを産むことにしました』（KADOKAWA）、『同性婚のリアル』（ポプラ社）、『ふたりのママから、きみたちへ』、『レズビアン的結婚生活』がある。LGBT初のオンラインサロン「こゆひろサロン」運営。
12/7(水) 城南市民センター 部落問題のこれから	かどおか のぶひこ 角岡 伸彦 	1963年兵庫県加古川市の被差別部落に生まれる。関西学院大学社会学部を卒業後、神戸新聞記者などを経て、現在、ノンフィクションライター。大阪市在住。1997年から2002年まで大阪大学非常勤講師（部落問題論）を務める。著書「被差別部落の青春」を出版し話題となる。他に「ホルモン奉行」「はじめての部落問題」「ふしぎな部落問題」等。
12/8(木) 西市民センター チャンスをくれた人～2016リオまでの道のり～	みおした みさと 道下 美里 	福岡県太宰府市在住。 2004年盲学校在籍中に陸上競技と出会う。144cmと小柄ながら、「あきらめない心」「挑戦する心」で、次々と各地の大会へ。 2008年からフルマラソンを走りはじめ、2014年の防府読売マラソンでは2時間59分21秒でフィニッシュ。女子マラソン（視覚障がい）では日本新記録を更新し、国際パラリンピック委員会（IPC）が発表した2014年世界ランク1位となった。 今年9月に開催されたりオデジャネイロパラリンピックでは銀メダルに輝いた。現在は仲間とともに、さらなる記録更新をめざしトレーニングを重ねている。 ※福岡マラソンには第1回大会からゲストランナーとして出場。「福岡マラソン2016」で3回目となる。
12/9(金) 東市民センター 中村久子伝～生きること、生かされていること～	いちりゅうざい けいみ 一龍斎 春水 	1976年3月黒沢良主催声優学校卒業。在校中から声優活動を始める。宇宙戦艦ヤマトの森雪やシティーハンターの野上冴子刑事など、声優として活躍。また、1992年9月講談師一龍斎貞水に入門。2004年3月真打ち昇進。女性が語る講談として、現代社会に意義の或る新作を語る。声優としても仕事は継続（アメイジングスパイダーマンでメイおばさん役）する一方、若手声優を育成する学校の所長を務め、指導もしている。
12/10(土) 中央市民センター 演劇集団フリーダムによる人権啓発ミュージカル「Happyバースデー」公演	演劇集団フリーダム 	原作「Happyバースデー」青木和雄・吉富多美（金の星社刊） 2007年より全国で初めて演劇集団フリーダムが劇化。 2008年演劇集団フリーダム指導のもと市民参加型ミュージカル開催。2009年には、フジテレビにてドラマ化されて話題を呼んだ。2015年福岡市人権啓発センターでも、市民参加型ミュージカルとして上演。 <ストーリー> 「ああ、あすかなんて、本当に生まなきゃよかったなあ。」自分の思い通りに成長した長男に比べて出来の悪い娘あすかに、容赦ない言葉を浴びせる母静代。母の一言で声を失ってしまうあすか。 命の恵みの大切さを知ったあすかは、学校のいじめに立ち向かっていく。愛に飢え、愛を求めて彷徨う母娘の再生の物語。